れんごうさが

No.193
2023年11月

社会を新たなステージへ、ともに歩もう、ともに変えよう
～仲間の輪を広げ　安心社会をめざす～

RENGO　SAGA

発　行　日本労働組合総連合会・佐賀県連合会
発行人　松尾和寿　　編集者　矢ヶ部教馬

〒840-0804　佐賀市神野東4-7-3　TEL0952-33-3705　FAX0952-33-2805

連合佐賀「第18回定期大会」開催

連合佐賀は10月21日（土）、第18回定期大会を151名参加のもと開催しました。

今回は2年に1度の定期大会であり2024～2025年度運動方針など4つの議案全てについて審議の結果、可決承認されました。また、役員改選の大会でもあり、草場会長体制において2024年度の活動がスタートしました。

大会にあたり執行部を代表して挨拶を行った草場会長は、「17期であったこの2年間の活動は、当たり前が当たり前でなくなり、前例にとらわれない取り組みを行わなければ、『組織』も『運動』も維持できないという危機感を感じながら、駆け抜けてきた手探りの2年間だった。デジタルツールを介したコミュニケーションも行うなど、もどかしさを感じた一方で、時間や距離を超えることの利便性を発見でき、うまく活用すれば『運動』や『参加の幅』を広げることにつながることも覚えた。コロナ禍の影響は経済活動を委縮させ、ロシアによるウクライナ侵攻の影響も受け、原材料やエネルギー価格が高騰し、更に円安も加わって急性インフレとなっている。『コロナ禍』『物価高』『円安』のいわゆる『三重苦』に打ち勝つために、2023春闘は、『賃上げ』『賃上げ』『賃上げ』と連呼しながら交渉を展開すると同時に、世論喚起により気運を高めるべく、街宣行動をはじめ新聞、テレビ、ラジオなどを通じて積極的に訴えてきた。その結果、直近30年間で最高水準の賃上げが実現したが、物価高に賃上げが追い付かず可処分所得が低下し続けている現状がある。今後の春闘においては継続的な『人への投資』をはかるべく、『未来づくり春闘』を定着させるため、構成組織の更なるご尽力をお願いしたい。」と述べ、最後に選挙に関して、「2025年7月の第27回参議院議員通常選挙に向けた必勝態勢を、早期に整える必要がある。連合佐賀は、立憲民主党、国民民主党、両党の県連に対して、候補者の早期擁立に向けて要望書を提出している。早期擁立が実現できれば、連合佐賀、構成組織の機関会議等々を通じて、候補予定者の名前、顔、声、訴えを組合員一人ひとりに実感させることができ、運動の結束力も次第に高まるので、両党の引き続きのご尽力をお願いしたい」と挨拶を締めくくりました。

役員改選では、5名が今大会をもって退任となり、23年度に退任された3名の方々とともに、これまでの功績とご尽力をたたえ、表彰を行いました。

議案のほか、大会スローガンおよび大会宣言が採択されました。また、衆議院選挙に関する特別決議も採択されました。

大会の締めくくりにあたり草場会長の団結ガンバローにて閉会しました。

△草場会長挨拶

△ご来賓のみなさま

第18回定期大会概要

【経過報告】
○2023年度　一般活動経過報告・決算報告・会計監査報告
【議　　案】
○第1号議案　2024～2025年度運動方針に関する件
○第2号議案　2023年度剰余金処分および2024年度一般会計予算に関する件
○第3号議案　役員選出に関する件
○第4号議案　表彰に関する件

【退任役員】第4号議案での表彰者

宮崎　啓二郎さま
（前会長代行・自治労）

吉冨　和秀さま
（前副会長・基幹労連）

高祖　和彦さま
（前副事務局長・電機連合）

橋本　京介さま
（前執行委員・全電線）

小林　　登さま
（前執行委員・労済労連）

北村　公次さま
（前執行委員・JR連合）

原口　和貴さま
（前執行委員・全水道）

穴見　真一さま
（前会計監査・JAM）

2024～2025年度　連合佐賀役員体制

同じ役職内は五十音順（青年・女性除く）

会　長

草場　義樹
電力総連

副会長

小川　龍二
運輸労連

副会長

草場　健次
電力総連

副会長

近藤　三千代
UAゼンセン

副会長

鳥巣　裕芳
情報労連

副会長

山﨑　裕介
自動車総連

副会長

吉田　真也
JP労組

事務局長

松尾　和寿
情報労連

副事務局長

東島　美香
UAゼンセン

副事務局長

永石　　亀
自治労

副事務局長

矢ヶ部　教馬
電機連合

執行委員

江口　博美
自動車総連

執行委員

金嶽　和法
全労金

執行委員

新家　正浩
自治労

執行委員

出納　さとみ
労済労連

執行委員

末次　幸利
全水道

執行委員

多久島　崇義
基幹労連

執行委員

藤澤　圭佑
全電線

執行委員

中川　幹夫
国公連合

執行委員

中島　栄治
交通労連

執行委員

松本　信義
フード連合

執行委員

山口　幸一
セラミックス連合

執行委員

吉田　春菜
JR連合

執行委員

吉原　昭治郎
電機連合

執行委員

佐藤　宏紀
青年委員会

執行委員

石隈　由紀子
女性委員会

執行委員

石橋　麻子
女性委員会

会計監査

於保　伸宏
紙パ連合

会計監査

藤　千香子
自治労

会計監査

森川　剛太郎
JAM

2023平和行動in根室

連合「2023平和行動in根室」が9月9日（土）より2日間開催され、連合佐賀より5名が参加しました。

《第1日目》9月9日（土）

■北方四島学習会

【場　所】　北方四島交流事業船「えとぴりか」

【参加者】　50名

1.講演「海から考える北方領土返還運動

山田　吉彦氏（東海大学海洋理工学科教授）

2.北方四島学習会「ふるさと北方四島への想い」

［語り部］鈴木　咲子 氏（元島民、択捉島出身）

児玉　泰子 氏（北方領土返還要求運動連絡協議会事務局長、元島民、歯舞群島・志発島出身）

《第2日目》9月10日（日）

■2023平和ノサップ集会　11:00～11:50

北方領土（択捉島、国後島、色丹島、歯舞群島）の返還!

故郷への想いをつなごう!　四島交流を進めよう!

【場　所】　納沙布岬・望郷の岬公園

【参加者】　約800名

集会では清水秀行連合事務局長が主催者を代表して「日本固有の領土である北方領土がロシアに不法に占拠され78年が経過し、いまだに解決の糸口さえ見えていない。さらにロシアのウクライナ軍事侵攻により交流事業も中断し、後戻りしている。しかしながら、連合は北方四島返還の早期実現に向け最後までこの運動に取り組んでいく」と決意を述べられました。その後、杉山元連合北海道会長より地元を代表して挨拶があり、来賓として岡嶋秀典北海道北方領土対策根室地域本部本部長、石垣雅敏根室市長、山本茂樹北方領土問題対策協会理事長が挨拶されました。また、元島民の鈴木咲子さんからは、「島民は戦前17,291人いたが78年経過した今では5,296人となってしまった。平均年齢も87.8歳と高齢である。北方領土は私たち元島民のふるさとであり、日本の大切な領土である。私たちの世代で何とか北方領土返還を実現したい。そのためにもご協力をお願いする」と訴えられました。また、来年6月のオキナワ集会へ繋げるピースリレー（ピースフラッグを杉山元　連合北海道会長から石川修治　連合沖縄副事務局長へ）後、中澤愛樹連合北海道根室地区連合会事務局長による集会アピール採択、淺野康敏連合北海道釧根地域協議会会長の音頭によるガンバロー三唱で閉会しました。

連合佐賀女性委員会「2023女性集会」

連合佐賀女性委員会は、9月9日（土）4年ぶりに女性集会を開催しました。

女性集会は、産別・単組間の枠を超えた女性組合員相互の交流と、連合女性活動の充実・活性化に向けた課題を共有化し、今後の連合佐賀 女性委員会の活動に活かすという目的で行っています。

【場　所】　雲仙市「和泉屋 長崎カステラランド」
　　諫早市「諫早ゆうゆうランド干拓の里」

【参加者】　28名　〔内訳〕10産別 18名、議員懇談会 2名、女性委員会 6名、事務局 2名

1. 開会および主催者代表挨拶

女性委員会 石橋事務局長の司会により開会、主催者を代表し石隈委員長より女性集会の目的を述べたあと、『コロナの影響で4年ぶりの開催となったが、このように開催できたことを大変嬉しく思う。みなさんと一緒に、体験、そして学習を行い、楽しく交流し「明日からも、また頑張ろう。」と思えるような集会にしたい』と挨拶されました。

2. 2023女性集会（バスの車中にて）

①自己紹介　「今、興味があること」をひと言ずつ加え自己紹介を行い、和やかにスタートしました。

②女性委員会幹事の産別紹介　女性委員会には、現在9つの産別から幹事の選出をいただいています。なかなか他の産別のことを知る機会が無いため、各幹事より産別（職場）紹介を行いました。

③女性集会について　事務局より「連合佐賀2023女性集会」の取り組みと、10月27日開催の「連合女性集会」が「2023連合ジェンダー平等推進中央集会」と名称を改めて開催されることの説明と、併せて連合佐賀女性委員会としては、連合本部方針を踏まえ、次年度の集会については幹事会で協議し活動を行うことを報告しました。

④女性委員会活動報告　石隈委員長より「連合佐賀組織内における女性組合員数」「女性委員会役員体制」「幹事会」「主な活動（評価と課題）」「2023年度 諸活動」など女性委員会報告がされました。

⑤連合佐賀議員懇談会　女性議員の活動報告　事務局より、連合佐賀議員懇談会についての説明の後、参加いただいた「田村弘子鳥栖市議会議員」「冨永明美佐賀市議会議員」より、これまでの活動報告に併せて、今開催されている議会のトピックスなど報告いただきました。

3.「長崎カステラランド（カステラづくり体験・ランチ）」

6つの班に分かれ、カステラづくり体験を行いました。途中のランチでは、どのグループも意見交換で盛り上がり、生地づくり～包装まで、それぞれのカステラの出来上がりをたたえ、楽しく交流体験することが出来ました。

4. 諫早ゆうゆうランド干拓の里

諫早湾はガタ土が次々と堆積する湾で、高潮・洪水が起きやすく、600年以上前から干拓が繰り返されてきました。その歴史と最新の干拓技術の紹介がされている干拓資料館を見学した他、諫早市指定有形文化財に指定の庄屋屋敷など現地ガイドさんの案内を受けながら学習しました。

5.DVD学習

帰りの車中にて「飛翔～女たちの10年戦争～男女雇用機会均等法 誕生までの10年間の実録」のＤＶＤを視聴しました。先人女性たちの苦労と強い信念で出来た法律。その思いを今を生きる私達はエールとして受止め、次の世代に繋げていかなければいけないとみんなで共有しました。

連合佐賀「子育て支援・いじめ撲滅プロレス大会」

10月9日（月）スポーツの日に大和勤労者体育センターにて「連合佐賀　子育て支援・いじめ撲滅プロレス大会」を開催しました。この大会は、2020年3月に連合佐賀結成30周年の記念イベントとして予定されていましたが、新型コロナ感染症拡大のため延期となっており、今回やっと実現しました。

当日は構成組織の組合員さんをはじめ、ご家族、知人、地元の小学校の子どもたちなど、多くの皆さんにご参加いただきました。

△草場会長

≪ちびっこプロレス教室≫

≪プロレス 5試合≫

会場内では「がんばれ～！」の大きな声援も飛び交い、賑やかな大会となりました。実行委員、スタッフをはじめ、ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

2023連合佐賀青年委員会ユースラリー

連合佐賀青年委員会は、「連合佐賀に集う組合経験の浅い青年・女性を対象に、組合活動への興味を持ってもらうこと」を目的として、10月14日（土）～15日（日）にユースラリーを開催しました。コロナ禍前と同じ形態で開催するのは4年ぶりとなり、各地協の青年委員会も交えて全体で21名の参加となりました。

1日目は、石炭産業科学館の坂井館長にガイドをお願いし、三池炭鉱関係施設を見学しました。説明の中では、三池炭鉱の大規模な労働争議が2回発生していることの説明や、1963年に458名の死者を出した粉塵爆発事故で今でも病院を受診している方々の説明などがありました。三池炭鉱についての見学・学習を行った後は、宿泊地のTHE TRAILERHOUSE VILLAGE 大牟田 SPAにてバーベキュー交流を行い、ビンゴゲームなどで盛り上がりました。

2日目は、大川の仁田原建具製作所にて組子コースターの製作体験を行い、全行程を終了しました。

2023連合ジェンダー平等推進中央集会

10月27日（金）、連合ジェンダー平等推進中央集会がきゅりあん大ホールとWeb形式併用で開催され、連合佐賀からはWebにて4名が参加しました。

※近年男性の参加も増えたこと、男女平等参画社会実現のためには男女双方の理解が重要であることを踏まえ、誰もが取り組むべき課題であることを改めて明示することを含め、これまでの「女性集会」を「ジェンダー平等推進中央集会」に改称されました。

集会テーマ:「男女が共になってあらゆる分野に女性の積極的な参画をすすめよう!」

△連合　芳野会長

○主催者代表挨拶:芳野会長

主催者を代表し芳野友子会長が「連合本部の女性役員の女性比率は40.9％となった。今後も着実に取り組みを進めたい。連合『ジェンダー平等推進計画』フェーズ1を2021年10月から開始し、本年は計画期間の最終年となった。性別・年齢・国籍・障がいの有無・就労形態などにかかわらず、一人ひとりが尊重される社会をめざし、労働組合が社会を作り替えていく必要がある」と挨拶されました。

○基調提起:「ジェンダー主流化を推進しよう!」小原成朗総合政策推進局長

○基調講演:「クミダンの『壁』ークミジョ・クミダンを科学する」武庫川女子大学 本田一成教授

○パネルセッション:「クミジョが活躍するための突破口はどこにあるのか?」

○集会アピール採択:連合神奈川／今村女性委員長

閉会の挨拶で山中しのぶ副会長より、「連合『ジェンダー平等推進計画』の現状点検を行って、参加した皆さんそれぞれの立場で少しでも一歩を踏み出すことをお願いしたい」と述べられ、集会が終了しました。

「2024年度 予算編成に向けた重点政策・制度要求事項」に対する県部局長交渉

連合佐賀は10月31日（火）県市町会館にて、2024年度予算編成に向けた重点政策・制度要求事項に対する県部局長交渉を行いました。なお7月27日、県に対して「2024年度　佐賀県に対する政策・制度要求書（12分野24項目62事項）」として山口知事に提出、うち9分野12項目15事項を重点事項として絞り込み、そのすべてに対する回答を得ていたところです。今回の「県部局長交渉」は、その回答を基にさらに絞り込みを行い、県予算への組み込みを求めるものであり、10事項について部局長交渉を行いました。

◆連合佐賀 草場会長あいさつ

「佐賀県の最低賃金がCランクトップの900円となった。7月27日の知事との意見交換会の時に佐賀地方最低賃金審議会に要請を行っていただき、大変心強いということを申し上げたところで、効果となって表れたと思っている。感謝を申し上げたい。また、ハードルが高くなるが、このハードルを乗り越え、賃金アップに繋げていきたい。佐賀県におかれましては、中小企業を支援する佐賀県賃金アッププロジェクトにて、県民に幅広く伝えられ、有効なものになりますよう願っている。連合佐賀としても、今後の春闘、労使交渉を土台とし、国や県、市町、企業などに訴えていきながら、引き続き賃上げを目指して頑張っていきたい。」と挨拶しました。

◆佐賀県 井手産業労働部長あいさつ

「連合佐賀の皆様におかれては、日頃から労働者の地位・生活向上や地方経済の発展にご尽力いただくとともに本県の政策事業に多大なるご協力を賜り、厚く御礼を申し上げる。本県は15歳までの子どもの割合が高いものの、進学や就職を機に県外に流出しており、最低賃金を含め地域間格差も県政の重要な課題と認識している。また高校生の県内就職率65％以上をめざし、県内就職を促進する取り組みを進めているなか、令和4年度の県内就職率は66.5％と3年連続で65％を達成することが出来た。また、10月から佐賀型賃金アッププロジェクトを始動させており、県内企業の収益力向上を後押しすることで、賃金引上げ、人材確保を拡大する好循環を生み出したい。賃金の引き上げは、重要な課題であり、引き続き達成するためには、県内企業の大半が中小企業や小規模事業の皆さまなので、しっかり売り上げながら、その結果、持続的な賃金引き上げに繋げられるよう、精一杯やっていきたい。」と挨拶をいただきました。

◆部局長交渉（県からの再質問10項目の回答および協議）

重要政策として2024年度の県予算反映を求め、県の部局長と交渉を行いました。

第1部　13:30～14:50（産業労働部）5項目

- ☞ デジタルトランスフォーメーション（DX）について
- ☞ 企業PRについて
- ☞ 最低賃金の適用に向けた業務改善助成金の申請状況と支援について
- ☞ 運輸業界における時間外労働の規制に関して
- ☞ 県内の買い物弱者の状況と支援策について

第2部　15:00～15:50（危機管理・報道局、健康福祉部、男女参画・こども局）3項目

- ☞ 情報弱者やデジタル弱者などへの対応、個別避難計画について
- ☞ ヤングケアラー、引きこもりの現状と対策について
- ☞ 県内保育所のバスの置き去り対策の状況、こども大綱の取組みについて

第3部　16:00～16:30（総務部・地域交流部）2項目

- ☞ 行政デジタル化の推進、生成AIについて
- ☞ 持続可能な公共交通体系の維持・確保に向け、乗って支える政策や、歩くライフスタイル定着へ向けた取り組みについて

なお、今回の交渉を踏まえた県政への反映点検のため、産業労働部へ「2024年度　県予算編成に向けた措置状況報告」の要請を行いました。（「2024年予算措置状況の回答書」を2025年3月に受理予定）

来年度予算編成に向け
連合佐賀と県執行部交渉

最低賃金引き上げに伴う企業支援などで意見を交わした連合佐賀の役員ら（右）と県執行部＝佐賀市の県市町会館

佐賀県内最大の労働団体「連合佐賀」は31日、来年度の県予算編成に向け、県執行部と交渉した。7月下旬に県に提出した政策・制度要求のうち、県からの回答を踏まえ最低賃金引き上げに伴う中小企業支援や、物流の「2024年問題」など再質問した10項目に関し意見交換した。

佐賀県の最低賃金が時給853円から900円に引き上げられたことが話題になった。連合側は、県が最賃審議会に改定の議論を求める要請書を出したことに「感謝したい」とした上で、「中小企業は資材価格の高騰で価格転嫁できない中、さらに賃金が上がった。廃業に追い込まれる企業も出てくるのではという大きな懸念がある」と伝えた。

県産業労働部側は、県が取り組む佐賀型賃金アップ支援補助金の申請受付期間を11月30日まで延長することなどを説明し、「県としても多くの事業者に利用してほしい」などと応じた。

物流の「2024年問題」を踏まえた業界支援を求める声もあり、井手宣拓産業労働部長は「やるべきことはたくさんある。国が何をやるのか、県が何をやるのかきっちり整理して、効果的な対応をしたい」と語った。

連合は県に「12分野24項目62事項」を政策要求しており、県の回答を踏まえ改めて交渉に臨んだ。

（山口貴由）

編集後記

連合佐賀も10月の大会を終えて18期が始まりました。役員の改選もあり退任された役員の方の今後ますますのご活躍を祈念いたします。

新執行部での新たな船出となります。色々な制限があった3年間の経験を活かし様々な活動を今後も展開していきますので構成組織のご協力をお願いいたします。（K・Y）

なお、今回の交渉を踏まえた県政への反映点検のため、産業労働部へ「2024年度　県予算編成に向けた措置状況報告」の要請を行いました。（「2024年予算措置状況の回答書」を2025年3月に受理予定）

来年度予算編成に向け
連合佐賀と県執行部交渉

佐賀県内最大の労働団体「連合佐賀」は31日、来年度の県予算編成に向け、県執行部と交渉した。7月下旬に県に提出した政策・制度要求のうち、県からの回答を踏まえ最低賃金引き上げに伴う中小企業支援や、物流の「2024年問題」など再質問した10項目に関し意見交換した。

最低賃金引き上げに伴う企業支援などで意見を交わした連合佐賀の役員ら（右）と県執行部＝佐賀市の県市町会館

佐賀県の最低賃金が時給853円から900円に引き上げられたことが話題になった。連合側は、県が最賃審議会に改定の議論を求める要請書を出したことに「感謝したい」とした上で、「中小企業は資材価格の高騰で価格転嫁できない中、さらに賃金が上がった。廃業に追い込まれる企業も出てくるのではという大きな懸念がある」と伝えた。

県産業労働部側は、県が取り組む佐賀型賃金アップ支援補助金の申請受付期間を11月30日まで延長することなどを説明し、「県としても多くの事業者に利用してほしい」などと応じた。

物流の「2024年問題」を踏まえた業界支援を求める声もあり、井手宣拓産業労働部長は「やるべきことはたくさんある。国が何をやるのか、県が何をやるのかきっちり整理して、効果的な対応をしたい」と語った。

連合は県に「12分野24項目62事項」を政策要求しており、県の回答を踏まえ改めて交渉に臨んだ。

（山口貴由）

編集後記

連合佐賀も10月の大会を終えて18期が始まりました。役員の改選もあり退任された役員の方の今後ますますのご活躍を祈念いたします。

新執行部での新たな船出となります。色々な制限があった3年間の経験を活かし様々な活動を今後も展開していきますので構成組織のご協力をお願いいたします。（K・Y）

れんごうさが

No.193
2023年11月

社会を新たなステージへ、ともに歩もう、ともに変えよう
～仲間の輪を広げ　安心社会をめざす～

RENGO　SAGA

発　行　日本労働組合総連合会・佐賀県連合会
発行人　松尾和寿　　編集者　矢ヶ部教馬

〒840-0804　佐賀市神野東4-7-3　TEL0952-33-3705　FAX0952-33-2805

連合佐賀「第18回定期大会」開催

連合佐賀は10月21日（土）、第18回定期大会を151名参加のもと開催しました。

今回は2年に1度の定期大会であり2024～2025年度運動方針など4つの議案全てについて審議の結果、可決承認されました。また、役員改選の大会でもあり、草場会長体制において2024年度の活動がスタートしました。

大会にあたり執行部を代表して挨拶を行った草場会長は、「17期であったこの2年間の活動は、当たり前が当たり前でなくなり、前例にとらわれない取り組みを行わなければ、『組織』も『運動』も維持できないという危機感を感じながら、駆け抜けてきた手探りの2年間だった。デジタルツールを介したコミュニケーションも行うなど、もどかしさを感じた一方で、時間や距離を超えることの利便性を発見でき、うまく活用すれば『運動』や『参加の幅』を広げることにつながることも覚えた。コロナ禍の影響は経済活動を委縮させ、ロシアによるウクライナ侵攻の影響も受け、原材料やエネルギー価格が高騰し、更に円安も加わって急性インフレとなっている。『コロナ禍』『物価高』『円安』のいわゆる『三重苦』に打ち勝つために、2023春闘は、『賃上げ』『賃上げ』『賃上げ』と連呼しながら交渉を展開すると同時に、世論喚起により気運を高めるべく、街宣行動をはじめ新聞、テレビ、ラジオなどを通じて積極的に訴えてきた。その結果、直近30年間で最高水準の賃上げが実現したが、物価高に賃上げが追い付かず可処分所得が低下し続けている現状がある。今後の春闘においては継続的な『人への投資』をはかるべく、『未来づくり春闘』を定着させるため、構成組織の更なるご尽力をお願いしたい。」と述べ、最後に選挙に関して、「2025年7月の第27回参議院議員通常選挙に向けた必勝態勢を、早期に整える必要がある。連合佐賀は、立憲民主党、国民民主党、両党の県連に対して、候補者の早期擁立に向けて要望書を提出している。早期擁立が実現できれば、連合佐賀、構成組織の機関会議等々を通じて、候補予定者の名前、顔、声、訴えを組合員一人ひとりに実感させることができ、運動の結束力も次第に高まるので、両党の引き続きのご尽力をお願いしたい」と挨拶を締めくくりました。

役員改選では、5名が今大会をもって退任となり、23年度に退任された3名の方々とともに、これまでの功績とご尽力をたたえ、表彰を行いました。

議案のほか、大会スローガンおよび大会宣言が採択されました。また、衆議院選挙に関する特別決議も採択されました。

大会の締めくくりにあたり草場会長の団結ガンバローにて閉会しました。

△草場会長挨拶

△ご来賓のみなさま

第18回定期大会概要

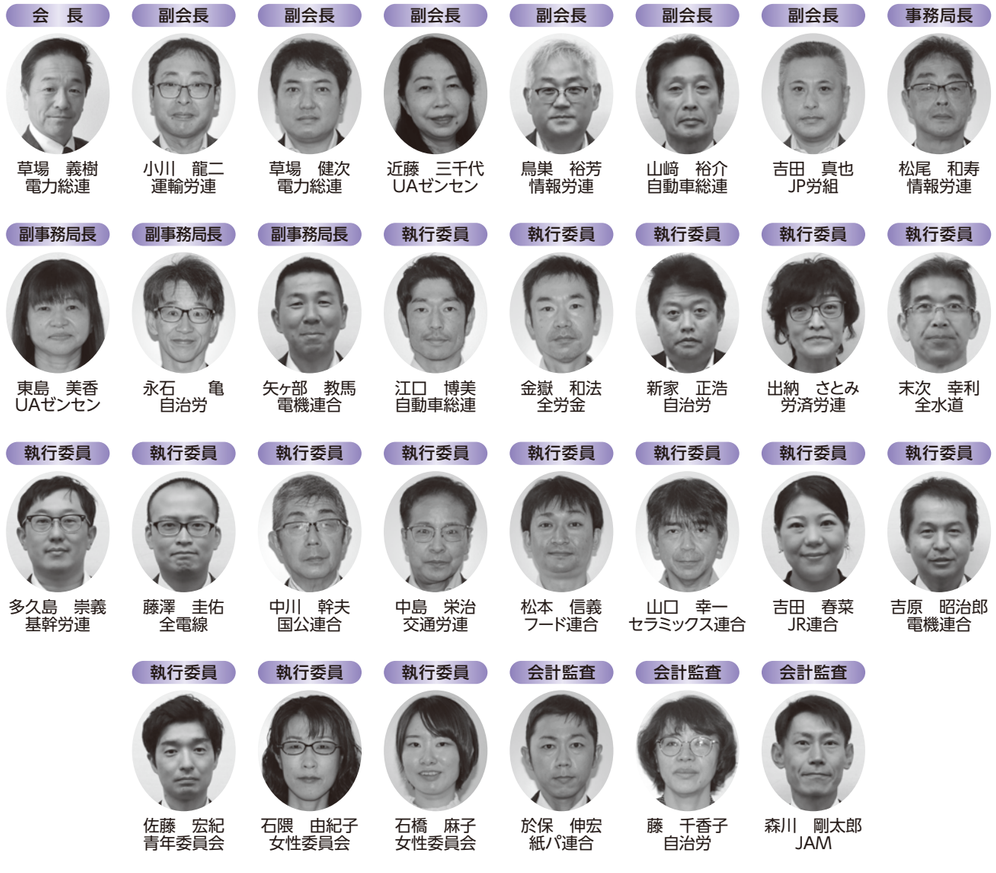
【経過報告】
○2023年度　一般活動経過報告・決算報告・会計監査報告
【議　　案】
○第1号議案　2024～2025年度運動方針に関する件
○第2号議案　2023年度剰余金処分および2024年度一般会計予算に関する件
○第3号議案　役員選出に関する件
○第4号議案　表彰に関する件

【退任役員】第4号議案での表彰者

宮崎　啓二郎さま（前会長代行・自治労）
吉冨　和秀さま（前副会長・基幹労連）
高祖　和彦さま（前副事務局長・電機連合）
橋本　京介さま（前執行委員・全電線）
小林　　登さま（前執行委員・労済労連）
北村　公次さま（前執行委員・JR連合）
原口　和貴さま（前執行委員・全水道）
穴見　真一さま（前会計監査・JAM）

2024～2025年度　連合佐賀役員体制

同じ役職内は五十音順（青年・女性除く）



会　長
草場　義樹　電力総連

副会長
小川　龍二　運輸労連
草場　健次　電力総連
近藤　三千代　UAゼンセン
鳥巣　裕芳　情報労連
山﨑　裕介　自動車総連
吉田　真也　JP労組
松尾　和寿　情報労連

副事務局長
東島　美香　UAゼンセン
永石　　亀　自治労
矢ヶ部　教馬　電機連合
江口　博美　自動車総連
金嶽　和法　全労金
新家　正浩　自治労
出納　さとみ　労済労連
末次　幸利　全水道

執行委員
多久島　崇義　基幹労連
藤澤　圭佑　全電線
中川　幹夫　国公連合
中島　栄治　交通労連
松本　信義　フード連合
山口　幸一　セラミックス連合
吉田　春菜　JR連合
吉原　昭治郎　電機連合
佐藤　宏紀　青年委員会
石隈　由紀子　女性委員会
石橋　麻子　女性委員会
於保　伸宏　紙パ連合
藤　千香子　自治労
森川　剛太郎　JAM

事務局長
松尾　和寿　情報労連

会計監査
森川　剛太郎　JAM

2023平和行動in根室

連合「2023平和行動in根室」が9月9日（土）より2日間開催され、連合佐賀より5名が参加しました。

《第1日目》9月9日（土）

■北方四島学習会

【場　所】　北方四島交流事業船「えとぴりか」
【参加者】　50名
1.講演「海から考える北方領土返還運動
山田　吉彦氏（東海大学海洋理工学科教授）
2.北方四島学習会「ふるさと北方四島への想い」
［語り部］鈴木　咲子 氏（元島民、択捉島出身）
児玉　泰子 氏（北方領土返還要求運動連絡協議会事務局長、元島民、歯舞群島・志発島出身）

《第2日目》9月10日（日）

■2023平和ノサップ集会　11:00～11:50

北方領土（択捉島、国後島、色丹島、歯舞群島）の返還!
故郷への想いをつなごう!　四島交流を進めよう!
【場　所】　納沙布岬・望郷の岬公園
【参加者】　約800名

集会では清水秀行連合事務局長が主催者を代表して「日本固有の領土である北方領土がロシアに不法に占拠され78年が経過し、いまだに解決の糸口さえ見えていない。さらにロシアのウクライナ軍事侵攻により交流事業も中断し、後戻りしている。しかしながら、連合は北方四島返還の早期実現に向け最後までこの運動に取り組んでいく」と決意を述べられました。その後、杉山元連合北海道会長より地元を代表して挨拶があり、来賓として岡嶋秀典北海道北方領土対策根室地域本部本部長、石垣雅敏根室市長、山本茂樹北方領土問題対策協会理事長が挨拶されました。また、元島民の鈴木咲子さんからは、「島民は戦前17,291人いたが78年経過した今では5,296人となってしまった。平均年齢も87.8歳と高齢である。北方領土は私たち元島民のふるさとであり、日本の大切な領土である。私たちの世代で何とか北方領土返還を実現したい。そのためにもご協力をお願いする」と訴えられました。また、来年6月のオキナワ集会へ繋げるピースリレー（ピースフラッグを杉山元　連合北海道会長から石川修治　連合沖縄副事務局長へ）後、中澤愛樹連合北海道根室地区連合会事務局長による集会アピール採択、淺野康敏連合北海道釧根地域協議会会長の音頭によるガンバロー三唱で閉会しました。

連合佐賀女性委員会「2023女性集会」

連合佐賀女性委員会は、9月9日（土）4年ぶりに女性集会を開催しました。

女性集会は、産別・単組間の枠を超えた女性組合員相互の交流と、連合女性活動の充実・活性化に向けた課題を共有化し、今後の連合佐賀 女性委員会の活動に活かすという目的で行っています。

【場　所】　雲仙市「和泉屋 長崎カステラランド」
　　諫早市「諫早ゆうゆうランド干拓の里」

【参加者】　28名　〔内訳〕10産別 18名、議員懇談会 2名、女性委員会 6名、事務局 2名

1. 開会および主催者代表挨拶

女性委員会 石橋事務局長の司会により開会、主催者を代表し石隈委員長より女性集会の目的を述べたあと、『コロナの影響で4年ぶりの開催となったが、このように開催できたことを大変嬉しく思う。みなさんと一緒に、体験、そして学習を行い、楽しく交流し「明日からも、また頑張ろう。」と思えるような集会にしたい』と挨拶されました。

2. 2023女性集会（バスの車中にて）

①自己紹介　「今、興味があること」をひと言ずつ加え自己紹介を行い、和やかにスタートしました。

②女性委員会幹事の産別紹介　女性委員会には、現在9つの産別から幹事の選出をいただいています。なかなか他の産別のことを知る機会が無いため、各幹事より産別（職場）紹介を行いました。

③女性集会について　事務局より「連合佐賀2023女性集会」の取り組みと、10月27日開催の「連合女性集会」が「2023連合ジェンダー平等推進中央集会」と名称を改めて開催されることの説明と、併せて連合佐賀女性委員会としては、連合本部方針を踏まえ、次年度の集会については幹事会で協議し活動を行うことを報告しました。

④女性委員会活動報告　石隈委員長より「連合佐賀組織内における女性組合員数」「女性委員会役員体制」「幹事会」「主な活動（評価と課題）」「2023年度 諸活動」など女性委員会報告がされました。

⑤連合佐賀議員懇談会　女性議員の活動報告　事務局より、連合佐賀議員懇談会についての説明の後、参加いただいた「田村弘子鳥栖市議会議員」「冨永明美佐賀市議会議員」より、これまでの活動報告に併せて、今開催されている議会のトピックスなど報告いただきました。

3.「長崎カステラランド（カステラづくり体験・ランチ）」

6つの班に分かれ、カステラづくり体験を行いました。途中のランチでは、どのグループも意見交換で盛り上がり、生地づくり～包装まで、それぞれのカステラの出来上がりをたたえ、楽しく交流体験することが出来ました。

4. 諫早ゆうゆうランド干拓の里

諫早湾はガタ土が次々と堆積する湾で、高潮・洪水が起きやすく、600年以上前から干拓が繰り返されてきました。その歴史と最新の干拓技術の紹介がされている干拓資料館を見学した他、諫早市指定有形文化財に指定の庄屋屋敷など現地ガイドさんの案内を受けながら学習しました。

5.DVD学習

帰りの車中にて「飛翔～女たちの10年戦争～男女雇用機会均等法 誕生までの10年間の実録」のＤＶＤを視聴しました。先人女性たちの苦労と強い信念で出来た法律。その思いを今を生きる私達はエールとして受止め、次の世代に繋げていかなければいけないとみんなで共有しました。

連合佐賀「子育て支援・いじめ撲滅プロレス大会」

10月9日（月）スポーツの日に大和勤労者体育センターにて「連合佐賀　子育て支援・いじめ撲滅プロレス大会」を開催しました。この大会は、2020年3月に連合佐賀結成30周年の記念イベントとして予定されていましたが、新型コロナ感染症拡大のため延期となっており、今回やっと実現しました。

当日は構成組織の組合員さんをはじめ、ご家族、知人、地元の小学校の子どもたちなど、多くの皆さんにご参加いただきました。

△草場会長

≪ちびっこプロレス教室≫

≪プロレス 5試合≫

会場内では「がんばれ～！」の大きな声援も飛び交い、賑やかな大会となりました。実行委員、スタッフをはじめ、ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

2023連合佐賀青年委員会ユースラリー

連合佐賀青年委員会は、「連合佐賀に集う組合経験の浅い青年・女性を対象に、組合活動への興味を持ってもらうこと」を目的として、10月14日（土）～15日（日）にユースラリーを開催しました。コロナ禍前と同じ形態で開催するのは4年ぶりとなり、各地協の青年委員会も交えて全体で21名の参加となりました。

1日目は、石炭産業科学館の坂井館長にガイドをお願いし、三池炭鉱関係施設を見学しました。説明の中では、三池炭鉱の大規模な労働争議が2回発生していることの説明や、1963年に458名の死者を出した粉塵爆発事故で今でも病院を受診している方々の説明などがありました。三池炭鉱についての見学・学習を行った後は、宿泊地のTHE TRAILERHOUSE VILLAGE 大牟田 SPAにてバーベキュー交流を行い、ビンゴゲームなどで盛り上がりました。

2日目は、大川の仁田原建具製作所にて組子コースターの製作体験を行い、全行程を終了しました。

2023連合ジェンダー平等推進中央集会

10月27日（金）、連合ジェンダー平等推進中央集会がきゅりあん大ホールとWeb形式併用で開催され、連合佐賀からはWebにて4名が参加しました。

※近年男性の参加も増えたこと、男女平等参画社会実現のためには男女双方の理解が重要であることを踏まえ、誰もが取り組むべき課題であることを改めて明示することを含め、これまでの「女性集会」を「ジェンダー平等推進中央集会」に改称されました。

集会テーマ:「男女が共になってあらゆる分野に女性の積極的な参画をすすめよう!」

△連合　芳野会長

○主催者代表挨拶:芳野会長

主催者を代表し芳野友子会長が「連合本部の女性役員の女性比率は40.9％となった。今後も着実に取り組みを進めたい。連合『ジェンダー平等推進計画』フェーズ1を2021年10月から開始し、本年は計画期間の最終年となった。性別・年齢・国籍・障がいの有無・就労形態などにかかわらず、一人ひとりが尊重される社会をめざし、労働組合が社会を作り替えていく必要がある」と挨拶されました。

○基調提起:「ジェンダー主流化を推進しよう!」小原成朗総合政策推進局長

○基調講演:「クミダンの『壁』ークミジョ・クミダンを科学する」武庫川女子大学 本田一成教授

○パネルセッション:「クミジョが活躍するための突破口はどこにあるのか?」

○集会アピール採択:連合神奈川／今村女性委員長

閉会の挨拶で山中しのぶ副会長より、「連合『ジェンダー平等推進計画』の現状点検を行って、参加した皆さんそれぞれの立場で少しでも一歩を踏み出すことをお願いしたい」と述べられ、集会が終了しました。

「2024年度 予算編成に向けた重点政策・制度要求事項」に対する県部局長交渉

連合佐賀は10月31日（火）県市町会館にて、2024年度予算編成に向けた重点政策・制度要求事項に対する県部局長交渉を行いました。なお7月27日、県に対して「2024年度　佐賀県に対する政策・制度要求書（12分野24項目62事項）」として山口知事に提出、うち9分野12項目15事項を重点事項として絞り込み、そのすべてに対する回答を得ていたところです。今回の「県部局長交渉」は、その回答を基にさらに絞り込みを行い、県予算への組み込みを求めるものであり、10事項について部局長交渉を行いました。

◆連合佐賀 草場会長あいさつ

「佐賀県の最低賃金がCランクトップの900円となった。7月27日の知事との意見交換会の時に佐賀地方最低賃金審議会に要請を行っていただき、大変心強いということを申し上げたところで、効果となって表れたと思っている。感謝を申し上げたい。また、ハードルが高くなるが、このハードルを乗り越え、賃金アップに繋げていきたい。佐賀県におかれましては、中小企業を支援する佐賀県賃金アッププロジェクトにて、県民に幅広く伝えられ、有効なものになりますよう願っている。連合佐賀としても、今後の春闘、労使交渉を土台とし、国や県、市町、企業などに訴えていきながら、引き続き賃上げを目指して頑張っていきたい。」と挨拶しました。

◆佐賀県 井手産業労働部長あいさつ

「連合佐賀の皆様におかれては、日頃から労働者の地位・生活向上や地方経済の発展にご尽力いただくとともに本県の政策事業に多大なるご協力を賜り、厚く御礼を申し上げる。本県は15歳までの子どもの割合が高いものの、進学や就職を機に県外に流出しており、最低賃金を含め地域間格差も県政の重要な課題と認識している。また高校生の県内就職率65％以上をめざし、県内就職を促進する取り組みを進めているなか、令和4年度の県内就職率は66.5％と3年連続で65％を達成することが出来た。また、10月から佐賀型賃金アッププロジェクトを始動させており、県内企業の収益力向上を後押しすることで、賃金引上げ、人材確保を拡大する好循環を生み出したい。賃金の引き上げは、重要な課題であり、引き続き達成するためには、県内企業の大半が中小企業や小規模事業の皆さまなので、しっかり売り上げながら、その結果、持続的な賃金引き上げに繋げられるよう、精一杯やっていきたい。」と挨拶をいただきました。

◆部局長交渉（県からの再質問10項目の回答および協議）

重要政策として2024年度の県予算反映を求め、県の部局長と交渉を行いました。

第1部　13:30～14:50（産業労働部）5項目

- ☞ デジタルトランスフォーメーション（DX）について
- ☞ 企業PRについて
- ☞ 最低賃金の適用に向けた業務改善助成金の申請状況と支援について
- ☞ 運輸業界における時間外労働の規制に関して
- ☞ 県内の買い物弱者の状況と支援策について

第2部　15:00～15:50（危機管理・報道局、健康福祉部、男女参画・こども局）3項目

- ☞ 情報弱者やデジタル弱者などへの対応、個別避難計画について
- ☞ ヤングケアラー、引きこもりの現状と対策について
- ☞ 県内保育所のバスの置き去り対策の状況、こども大綱の取組みについて

第3部　16:00～16:30（総務部・地域交流部）2項目

- ☞ 行政デジタル化の推進、生成AIについて
- ☞ 持続可能な公共交通体系の維持・確保に向け、乗って支える政策や、歩くライフスタイル定着へ向けた取り組みについて